

3. 中学校給食に関するアンケート集計結果について

「中学校給食に関するアンケート」集計結果

大磯町立中学校の昼食は、これまで家庭で作る弁当を基本に、子どもの健全な心と身体の成長を見守ってきましたが、社会状況の変化や食育の観点から、中学校給食の実施を求める声が挙がっています。

町教育委員会では、中学校給食の必要性や実施に向けての課題等を整理し、中学校給食のあり方について、検討を進めています。このたび、中学校給食のあるべき姿や実現に向けての方法など、広く町民の方々や児童・生徒、保護者の方々の声をお聞きし、検討に向けての参考とさせていただきたく、「中学校給食に関するアンケート」を実施しました。

ここにアンケート集計結果をまとめましたので報告します。

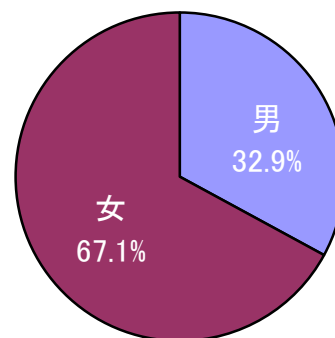
【調査方法】

- 調査期間：平成25年7月5日～7月22日
- 調査対象：町立中学校全生徒とその保護者・教職員
町立小学校6年生とその保護者、一般町民1,000人（無作為抽出）
- 調査・回収方法：各学校で配付・回収、（一般町民は郵送）、無記名回答方式
- 回収率・回答数：全体（67.0%・2,120）
生徒（97.2%・792）・保護者（72.0%・587）、中学校教職員（86.0%・49）
児童（96.6%・230）・保護者（66.4%・158）、一般町民（30.4%・304）

I 回答者のプロフィール

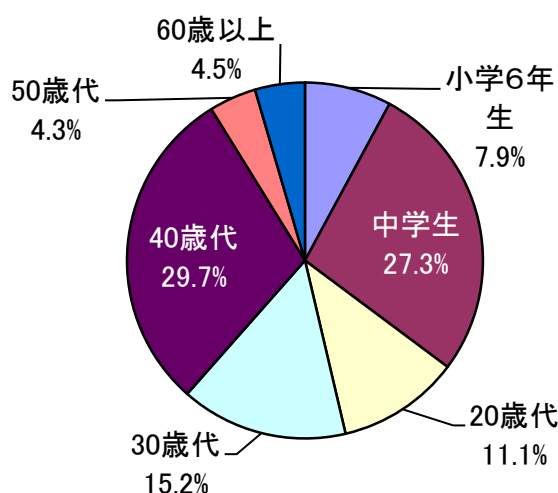
問 あなたの性別は【共通】

	回答数
<input type="checkbox"/> 男	690
<input type="checkbox"/> 女	1,406



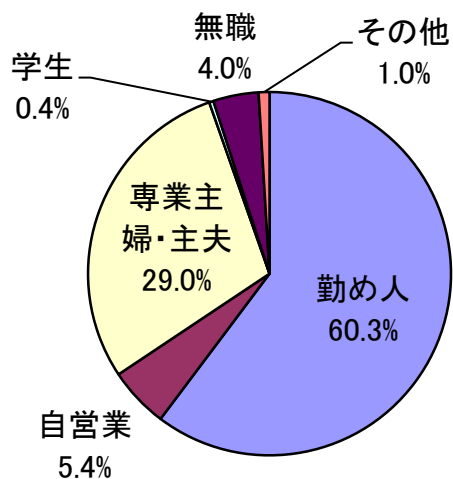
問 あなたの年齢は【共通】

	回答数
<input type="checkbox"/> 小学6年生	228
<input type="checkbox"/> 中学生	790
<input type="checkbox"/> 20歳代	322
<input type="checkbox"/> 30歳代	439
<input type="checkbox"/> 40歳代	858
<input type="checkbox"/> 50歳代	124
<input type="checkbox"/> 60歳以上	131



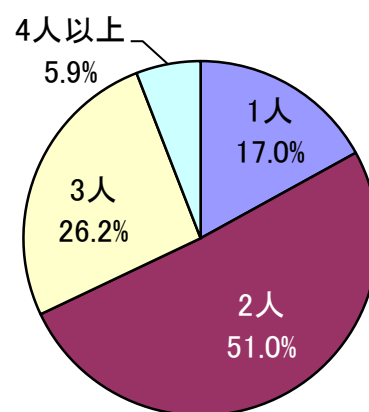
問 あなたの職業は【保護者・町民】

	回答数
<input type="checkbox"/> 勤め人	626
<input type="checkbox"/> 自営業	56
<input type="checkbox"/> 専業主婦・主夫	301
<input type="checkbox"/> 学生	4
<input type="checkbox"/> 無職	42
<input type="checkbox"/> その他	10



問 お子さんは何人いらっしゃいますか【保護者】

	回答数
<input type="checkbox"/> 1人	124
<input type="checkbox"/> 2人	372
<input type="checkbox"/> 3人	191
<input type="checkbox"/> 4人以上	43



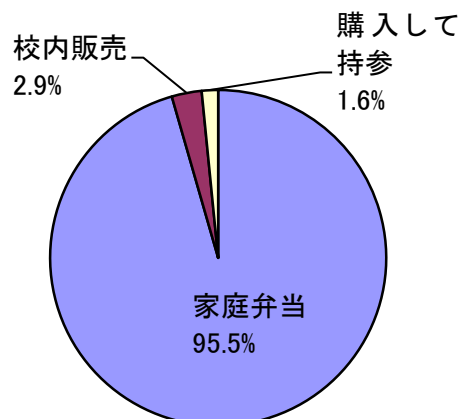
Ⅱ 現在の昼食の状況

【結果概要】

- ・生徒の95%以上が、毎日、家庭弁当を持参しているが、約5%の生徒は何らかの事情で昼食を購入している。
- ・弁当は約97%の家庭で家族が作り、自分で作っている生徒は2.4%である。
- ・弁当を作る時間は「あまりない」家庭が6割以上を占め、また5割以上の家庭で、弁当作りが大変だと感じている。
- ・弁当を作れなかった場合は5割以上の家庭が「購入して持参」。

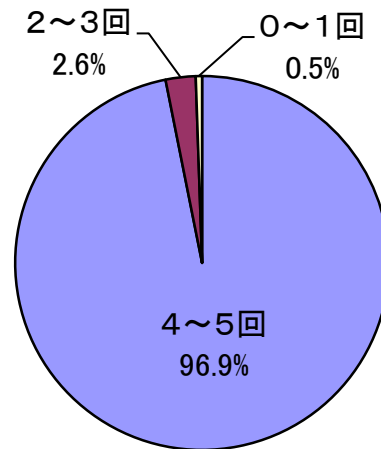
問 普段のお子さん(中学生)の昼食は【保護者】

	回答数
<input type="checkbox"/> 家庭弁当	729
<input type="checkbox"/> 校内販売	22
<input type="checkbox"/> 購入して持参	12



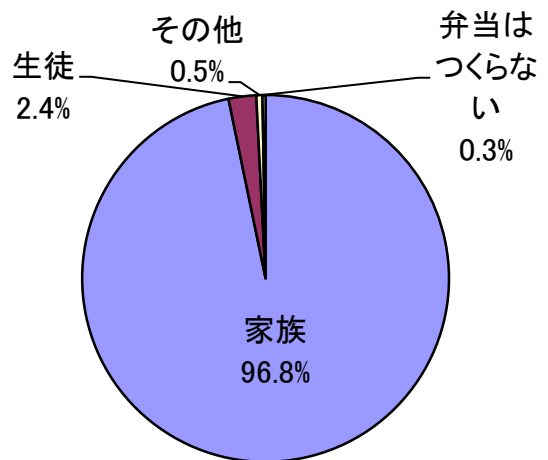
問 家庭弁当は週5日のうち何回くらいですか【保護者】

	回答数
<input type="checkbox"/> 4～5回	710
<input type="checkbox"/> 2～3回	19
<input type="checkbox"/> 0～1回	4



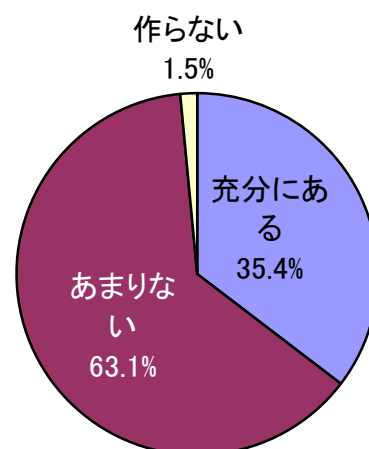
問 家庭弁当は主にどなたが作っていますか【保護者】

	回答数
<input type="checkbox"/> 家族	716
<input type="checkbox"/> 生徒	18
<input type="checkbox"/> その他	4
<input type="checkbox"/> 弁当はつくらない	2



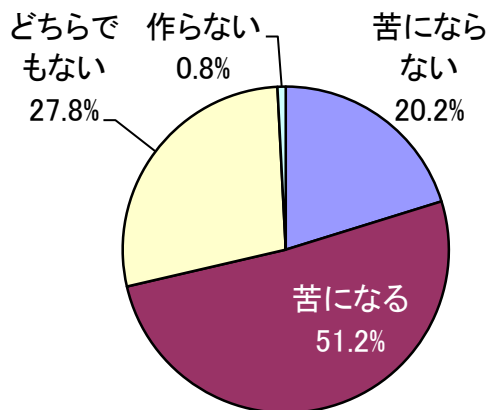
問 朝、弁当を作る時間について【保護者】

	回答数
<input type="checkbox"/> 充分にある	259
<input type="checkbox"/> あまりない	462
<input type="checkbox"/> 作らない	11



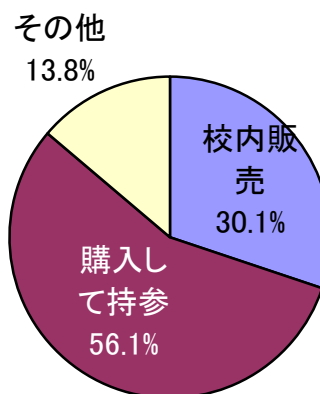
問 弁当を作るのは苦ですか【保護者】

	回答数
<input type="checkbox"/> 苦にならない	149
<input type="checkbox"/> 苦になる	377
<input type="checkbox"/> どちらでもない	205
<input type="checkbox"/> 作らない	6



問 弁当を作ることができないときどうしますか【保護者】

	回答数
<input type="checkbox"/> 校内販売	214
<input type="checkbox"/> 購入して持参	398
<input type="checkbox"/> その他	98



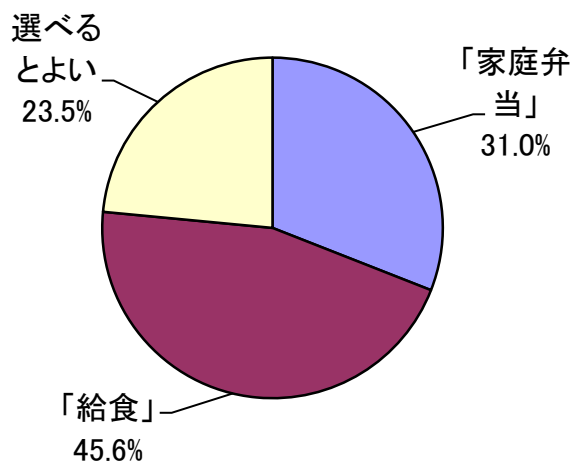
Ⅲ 今後の昼食のあり方

【結果概要】

- ・「給食がよい」が約半数を占め(45.6%)、次いで「家庭弁当」(31.0%)、「給食と弁当を選べるとよい」(23.5%)。
- ・回答者別としては、保護者と町民は「給食」が共にトップ、しかし、中学生と小学生、教職員は「弁当」がトップと逆の結果に。
- ・理由については、「家庭弁当」を選んだ回答者は、「量が調節できる」と「手作り弁当を食べさせたい(食べたい)」、「給食」では、「栄養バランス」と「温かい食事」が共に過半数を占め、「選べると良い」では「弁当を持ってこられないときがある」が約4割。

問 中学校の昼食としてどの方法がよいと思いますか【共通】

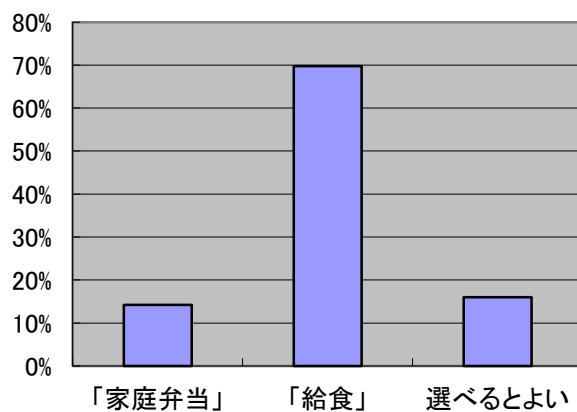
	回答数
<input type="checkbox"/> 今までどおり「家庭弁当」がよい	647
<input type="checkbox"/> 小学校のように「給食」がよい	952
<input type="checkbox"/> 「家庭弁当」と「給食」を選べるとよい	491



※回答者別

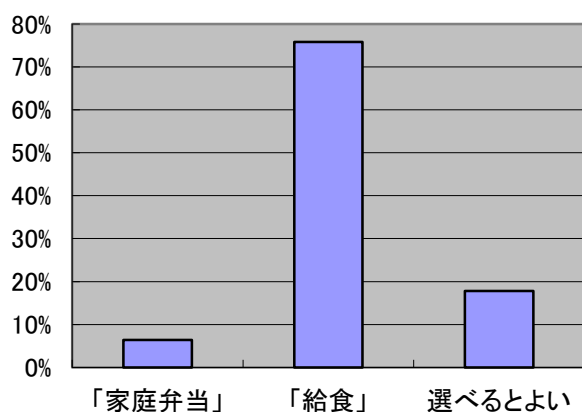
【中学生保護者】

「家庭弁当」 14.2%
「給食」 69.8%
「選べるとよい」 16.0%



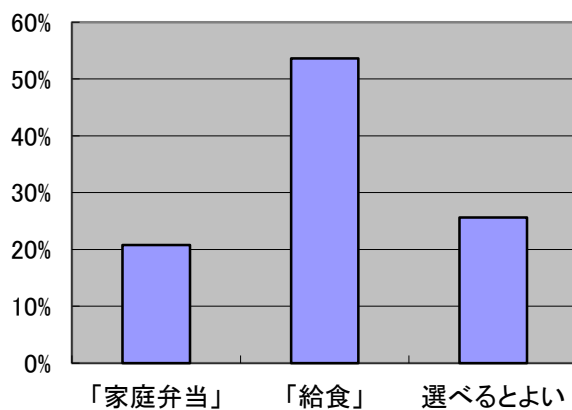
【小学生保護者】

「家庭弁当」 6.4%
「給食」 75.8%
「選べるとよい」 17.8%



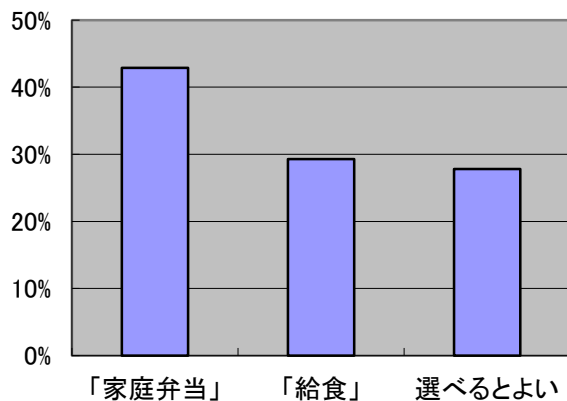
【町民】

「家庭弁当」 20.8%
「給食」 53.6%
「選べるとよい」 25.6%



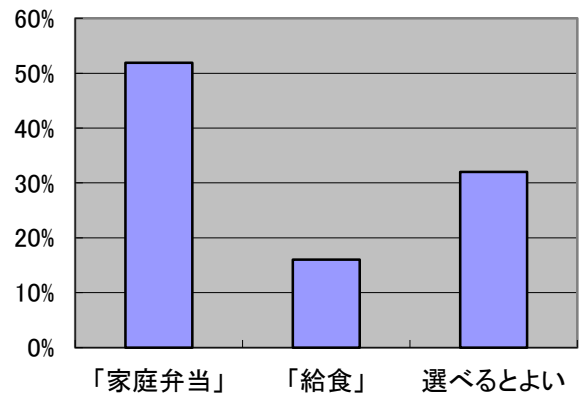
【中学生】

「家庭弁当」 42.9%
「給食」 29.3%
「選べるとよい」 27.8%



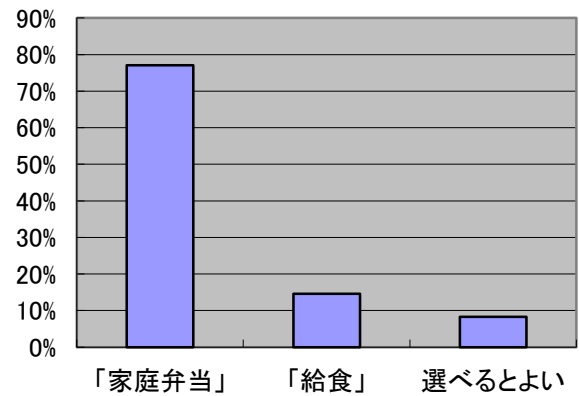
【小学生】

「家庭弁当」	51.9%
「給食」	16.0%
選べるとよい	32.0%



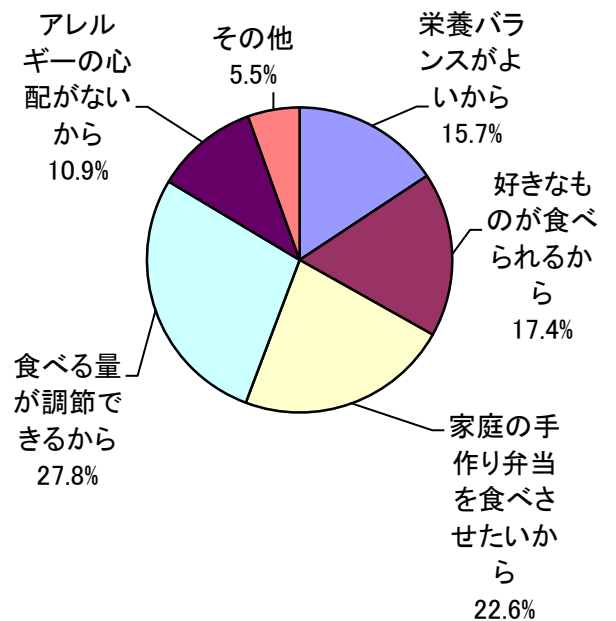
【中学校教職員】

「家庭弁当」	77.1%
「給食」	14.6%
選べるとよい	8.3%



問 「家庭弁当」と答えたのはなぜですか(複数回答可)【共通】

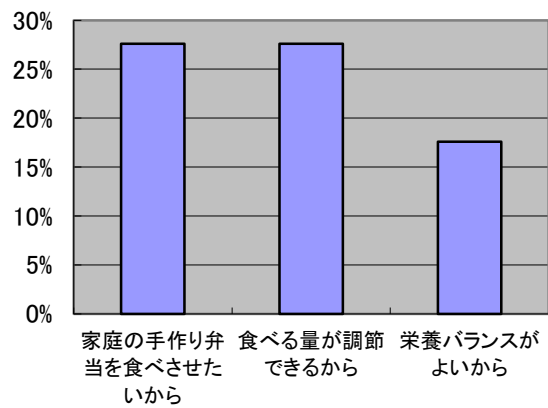
	回答数
<input type="checkbox"/> 栄養バランスがよいから	246
<input type="checkbox"/> 好きなものが食べられるから	273
<input type="checkbox"/> 家庭の手作り弁当を食べさせたいから	354
<input type="checkbox"/> 食べる量が調節できるから	436
<input type="checkbox"/> アレルギーの心配がないから	171
<input type="checkbox"/> その他	86



※回答者別(上位3位)

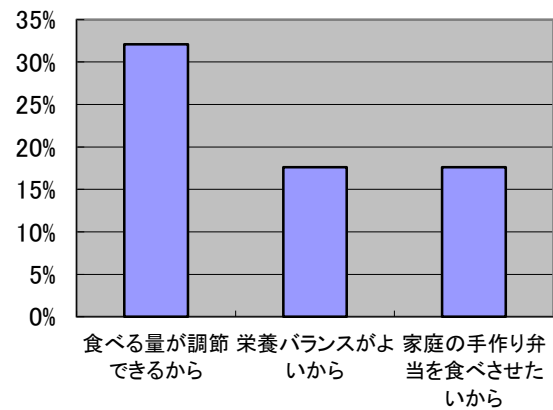
【中学生保護者】

家庭の手作り弁当を食べさせたいから	27.6%
食べる量が調節できるから	27.6%
栄養バランスがよいから	17.6%



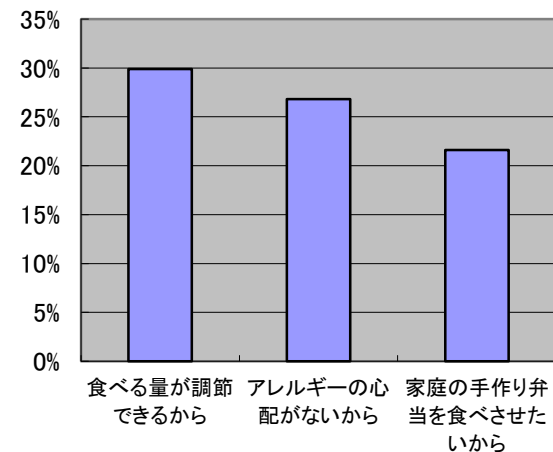
【小学生保護者】

食べる量が調節できるから	32.1%
栄養バランスがよいから	17.6%
家庭の手作り弁当を食べさせたいから	17.6%



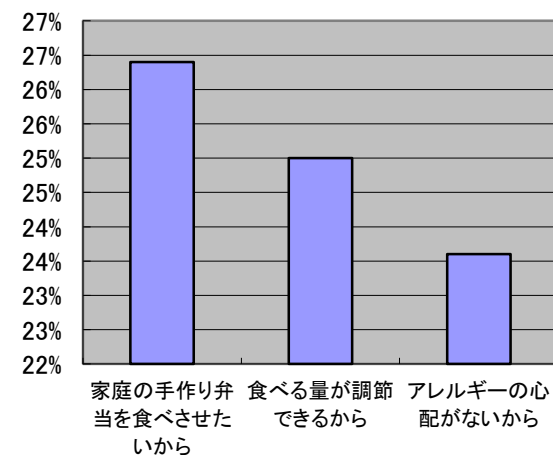
【中学校教職員】

食べる量が調節できるから	29.9%
アレルギーの心配がないから	26.8%
家庭の手作り弁当を食べさせたいから	21.6%



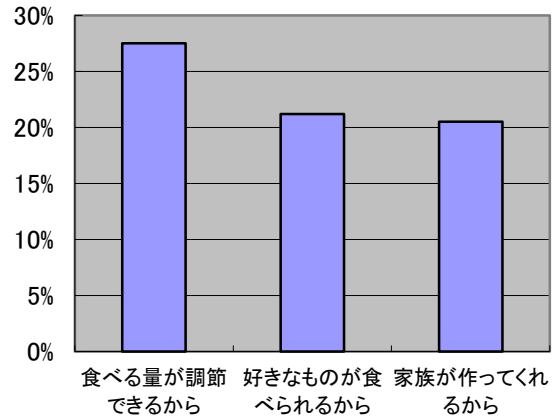
【町民】

家庭の手作り弁当を食べさせたいから	26.4%
食べる量が調節できるから	25.0%
アレルギーの心配がないから	23.6%



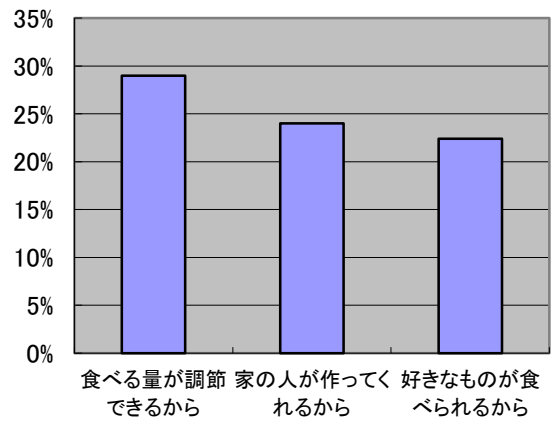
【中学生】

食べる量が調節できるから	27.5%
好きなものが食べられるから	21.2%
家族が作ってくれるから	20.5%



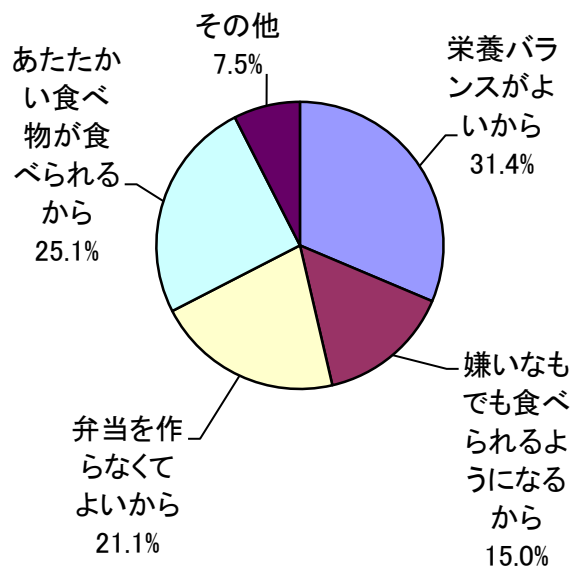
【小学生】

食べる量が調節できるから	29.0%
家の人が作ってくれるから	24.0%
好きなものが食べられるから	22.4%



問「給食」と答えたのはなぜですか(複数回答可)【共通】

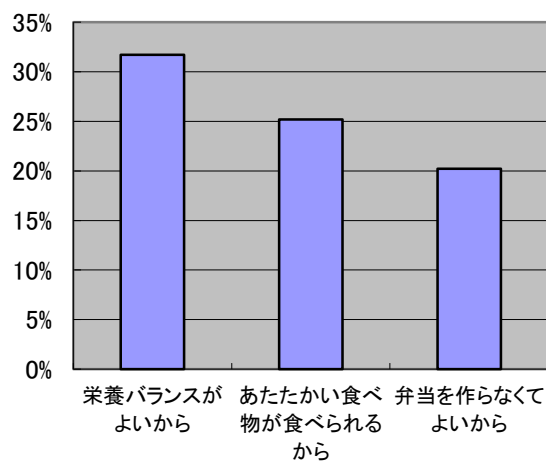
	回答数
<input type="checkbox"/> 栄養バランスがよいから	808
<input type="checkbox"/> 嫌いなものでも食べられるようになるから	387
<input type="checkbox"/> 弁当を作らなくてよいから	543
<input type="checkbox"/> あたたかい食べ物が食べられるから	646
<input type="checkbox"/> その他	193



※回答者別(上位3位)

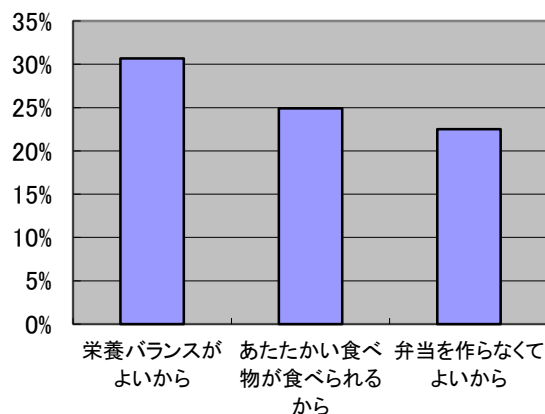
【中学生保護者】

栄養バランスがよいから 31.7%
 あたたかい食べ物が食べられるから 25.2%
 弁当を作らなくてよいから 20.2%



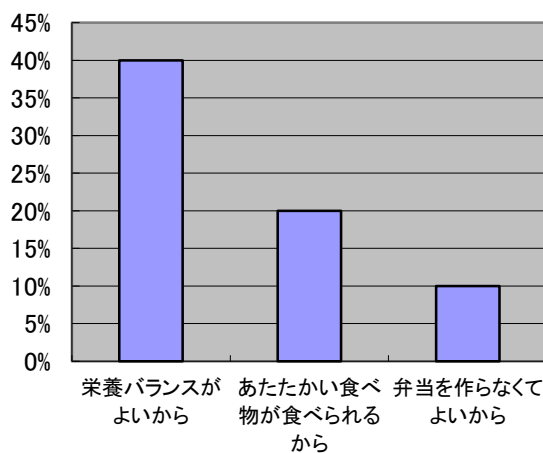
【小学生保護者】

栄養バランスがよいから 30.7%
 あたたかい食べ物が食べられるから 24.9%
 弁当を作らなくてよいから 22.5%



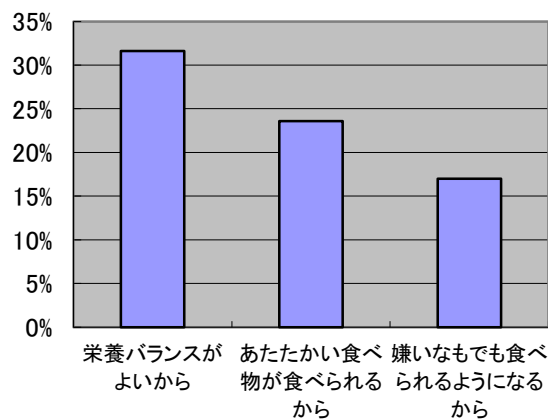
【中学校教職員】

栄養バランスがよいから 40.0%
 あたたかい食べ物が食べられるから 20.0%
 弁当を作らなくてよいから 10.0%



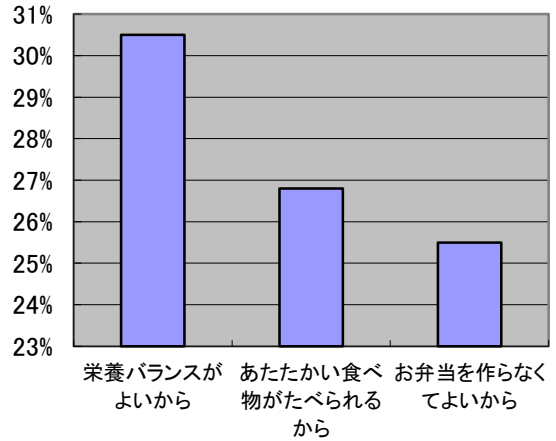
【町民】

栄養バランスがよいから 31.6%
 あたたかい食べ物が食べられるから 23.6%
 嫌いなものでも食べられるようになるから 17.0%



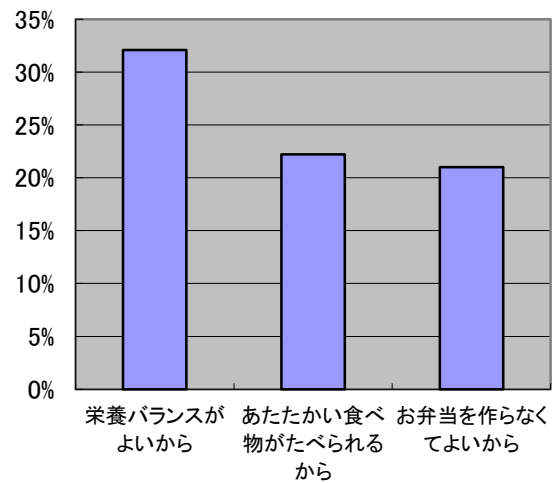
【中学生】

栄養バランスがよいから	30.5%
あたたかい食べ物がたべられるから	26.8%
お弁当を作らなくてよいから	25.5%



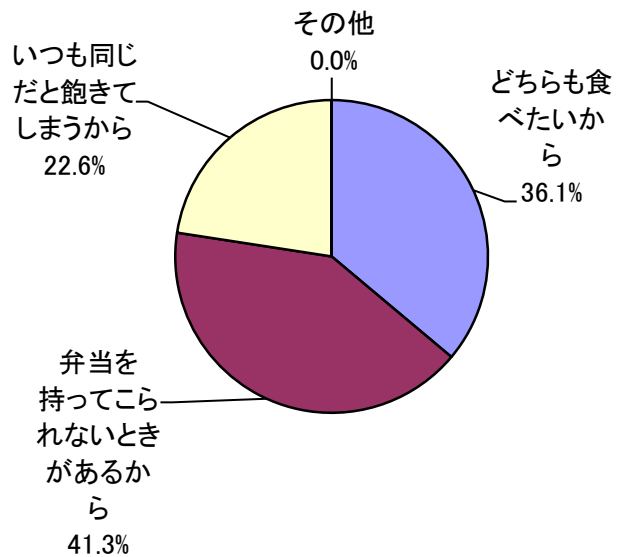
【小学生】

栄養バランスがよいから	32.1%
あたたかい食べ物がたべられるから	22.2%
お弁当を作らなくてよいから	21.0%



問 選べるとよいと答えたのはなぜですか(複数回答可)【共通】

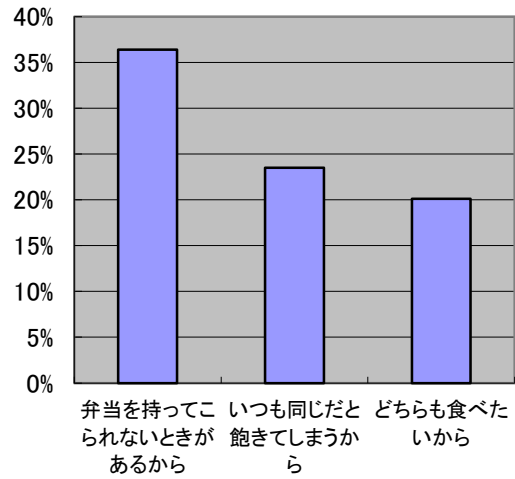
	回答数
<input type="checkbox"/> どちらも食べたいから	208
<input type="checkbox"/> 弁当を持ってこられないときがあるから	238
<input type="checkbox"/> いつも同じだと飽きてしまうから	130
<input type="checkbox"/> その他	



※回答者別(上位3位)

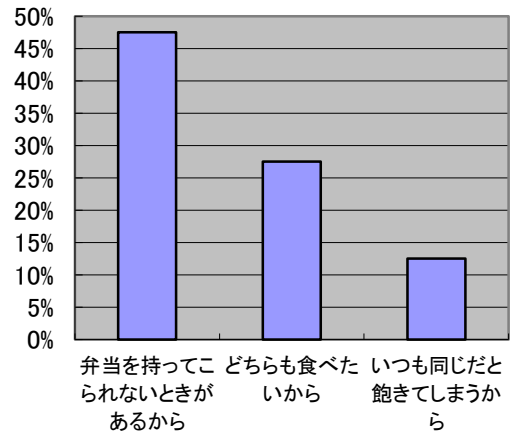
【中学生保護者】

弁当を持ってこられないときがあるから	36.4%
いつも同じだと飽きてしまうから	23.5%
どちらも食べたいから	20.1%



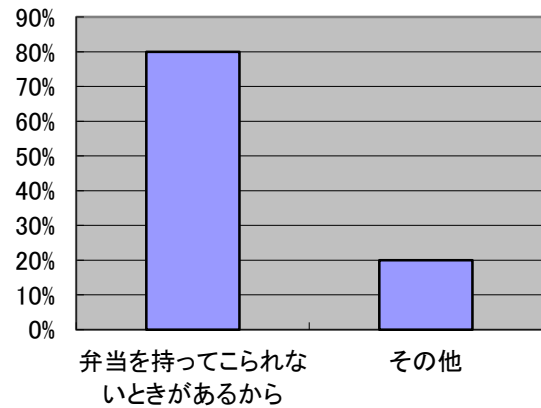
【小学生保護者】

弁当を持ってこられないときがあるから	47.5%
どちらも食べたいから	27.5%
いつも同じだと飽きてしまうから	12.5%



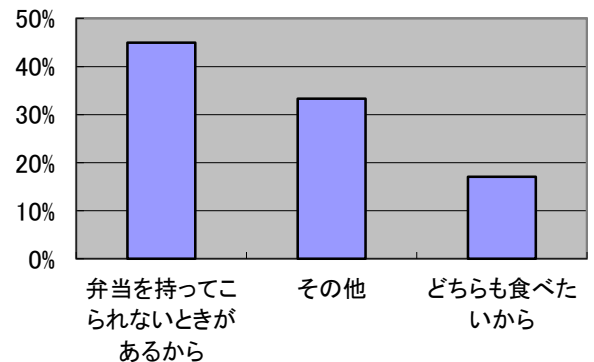
【中学校教職員】

弁当を持ってこられないときがあるから	80.0%
その他	20.0%



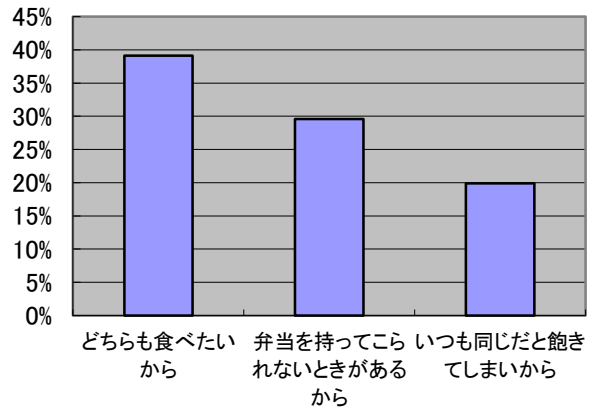
【町民】

弁当を持ってこられないときがあるから	45.0%
その他	33.3%
どちらも食べたいから	17.1%



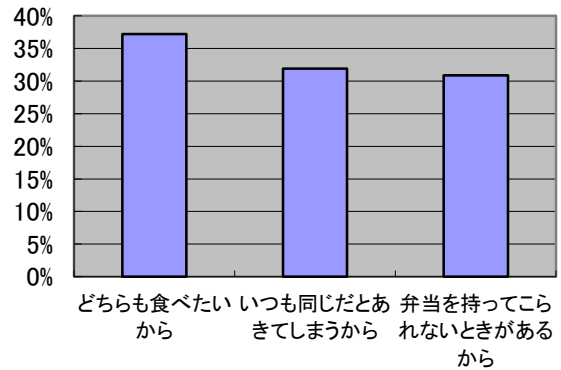
【中学生】

どちらも食べたいから	39.1%
弁当を持ってこれないときがあるから	29.6%
いつも同じだと飽きてしまいから	19.9%



【小学生】

どちらも食べたいから	37.2%
いつも同じだとあきてしまうから	31.9%
弁当を持ってこれないときがあるから	30.9%



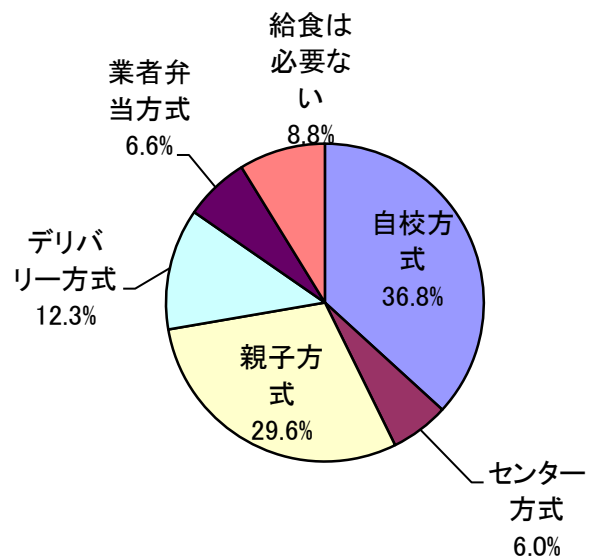
IV 中学校給食の方式と実施

【結果概要】

- ・給食の方式については、「自校方式」と「親子方式」が6割以上を占め、次いで「デリバリー方式」(12.3%)、「給食は必要ない」(8.8%)。
- ・給食を導入する場合の時期については、「早急に導入すべき」が約4割を占め、次いで「財政の許す範囲で」(27.6%)、「将来的に導入を」(21.2%)。
- ・給食導入によるカリキュラム等の影響については、「大きな課題ではない」が約8割を占めた。

問 中学校給食を導入する場合どの方式が最もよいと思いますか【保護者・教職員・町民】

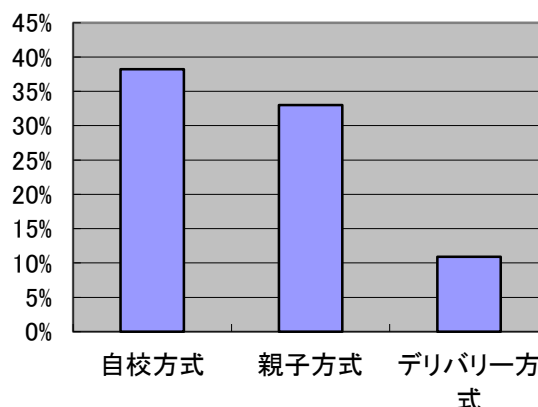
	回答数
<input type="checkbox"/> 自校方式	414
<input type="checkbox"/> センター方式	67
<input type="checkbox"/> 親子方式	333
<input type="checkbox"/> デリバリー方式	139
<input type="checkbox"/> 業者弁当方式	74
<input type="checkbox"/> 給食は必要ない	99



※回答者別(上位3位)

【中学生保護者】

自校方式	38.2%
親子方式	33.0%
デリバリー方式	10.9%



中学生保護者

●自校方式を選んだ理由は…

・「温かい食事」「栄養バランスがよい」「小学校と同じなので作り手の顔が見えて安心」「食中毒の心配がなくなる」という意見が多く寄せられました。

・「災害時の炊き出しに利用できる」や「別方式のように給食の配送が不要なので時短になる」といった意見もありました。

○コメント

※災害時にも炊き出しで使用できる。費用も妥当な金額。東京では自校で作るが業者に委託してコストを下げていた。中学生の食生活が体を作るのに多大な影響があるのでお昼は色々な食材のものを使える給食がよい。

※アレルギー対応が可能であり、きめ細かな給食が期待される。調理員さんたちが身近なところにおいて、家庭的、感謝を子どもたちも表しやすい。

※夏はお弁当がいたみやすく部活朝練があるととても気を使う。今まで給食で慣れていたので、冷たいご飯や栄養面でもマイナスな部分があると思う。家庭の事情でお弁当を作るのが大変!!

●親子方式を選んだ理由は…

・自校方式同様に「温かい」「アレルギー対応もできる」「栄養バランスがよい」や、「小・中学校が近く効率的に配送が出来る」「自校方式やセンター方式に対し比較的安く導入できる」という意見が多く寄せられました。

・「小学校と中学校に兄弟姉妹がいるので、同じ献立だと夕食メニューが考えやすい」という意見もありました。

○コメント

※親子を選んだのは、同じメニューを子供達が食べれるという事。昼食の話題が共通である事も家族の会話の1つ。親子にする事によって配達等の手間は増えますが、既存施設を整備する事により、小学校の給食室を充実する事も可能だと思います。給食なら、あたたかい物、冷たい物、汁物とお弁当ではかなえられない食事が出来、バラエティに富み、食育の上でも良いと思います。

●デリバリー方式を選んだ理由は…

・「栄養バランス」「財政負担も軽い」「早期に導入が出来る」という意見が多く寄せられました。

・「弁当との選択もでき、地元業者が請け負えば地元が潤う」といった意見もありました。

○コメント

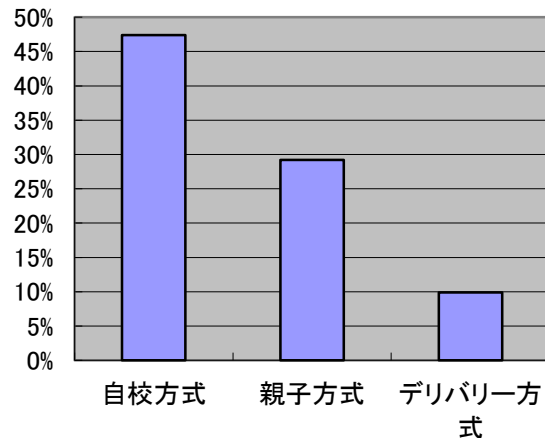
※給食費未払いの問題もふまえて弁当か給食を選ぶことができるのが望ましい。中学生は体をつくる大事な時期なので栄養バランスにも重点を置いて検討すべき。子供の事を第一に考えていただきたい。

※地方の自治体で、町の農家の方との連携関係を結び、野菜を廃棄せずに給食の材料として使い、お互いに無駄にせず、コストダウンをはかるなど有益にまわしていた。考え方ひとつで、お互いに幸せな思いが生まれるんだと思う。

※施設整備費、年間維持管理費が少なくてすむ。まずはデリバリーでやってみた方がいいと思う。

【小学生保護者】

自校方式	47.4%
親子方式	29.2%
デリバリー方式	9.9%



小学生保護者

●自校方式を選んだ理由は・・・

・「温かい食事」「栄養バランスがよい」「小学校と同じなので安心」「作り手の顔が見える」「食中毒の心配がないので安心」という意見が多く寄せられました。

・「災害時の炊き出しに利用できる」や「配膳や片付けも大変さが分かる点で大切」といった意見もありました。

○コメント

※小学校の給食はとてもおいしい、と子どもたちが大好きです。毎日給食を楽しみにしています。皆が同じものを一緒に食べることも良いことだと思います。

※もし、可能なら自校で作っていただき食べることが生徒にとって身近であり大変さ、大切さがわかるのではないのでしょうか。

※自校の方が作ってすぐ食べられるので食中毒などの心配が少ないと思うから。

●親子方式を選んだ理由は・・・

・「既存施設を活用できるので自校方式よりも経済的」という意見が多く寄せられました。

○コメント

※施設整備費と年間維持管理費を合わせて一番金額が少ないところで現実的と考えた。金額的な面で考えないならば自校方式が一番良いと思います。

※温かい食事とアレルギー対応もでき何より今の学校給食に満足しているので安心できる。

●デリバリー方式を選んだ理由は・・・

・「栄養バランス」「財政負担も軽い」「早期に導入が出来るから」といった意見が多く寄せられました。

・「配膳時間が短くすむ」や「民間活用で活性化する」といった意見もありました。

○コメント

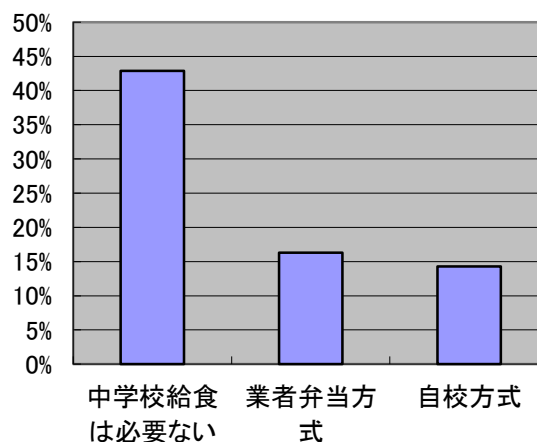
※早い導入を望む。一番現実的。温かい食事は弁当でも無理だしアレルギーの子は弁当でもいい。

※理想は「自校」「親子」なのだが費用を考えるとデリバリーが導入しやすいと思ったため。

※施設整備費がかからず、民間業者の雇用も増えて景気にもつながる。弁当を作るのは負担であるため。

【中学校教職員】

中学校給食は必要ない	42.9%
業者弁当方式	16.3%
自校方式	14.3%



中学校教職員

●「中学校給食は必要ない」を選んだ理由は・・・

・「学校施設整備に予算を使うべき」「学校活動への影響が大きい」「家族弁当の良さを感じて欲しい」などの意見がありました。

○コメント

※子どもの成長に個人差があり、分量にばらつきが出ることや、施設設備にかかる予算を考えると、保護者に頑張って作ってもらいたい。

※財源が不十分であると考えため、教育予算はもっと生きる形（今不十分なものをそろえる、修繕する）で使っていただきたい。

※生徒が保護者に感謝できる場面としてお弁当を考えているから。

●「業者弁当方式」を選んだ理由は・・・

・「経費がかからないから」「学校活動への影響が少ない」などの意見がありました。

○コメント

※食物アレルギーのある生徒にとっては、課題が残るが、カリキュラムや予算の面で一番現実的だと思うので。

※町で予算計上し、それ相応の設備を整えようとするとかかなりの負担があり、実現までに時間と経費、労力等がかかりすぎるから。

●「自校方式」を選んだ理由は・・・

・「生徒みんなが同じものを食べられる」「温かい食事ができる」などの意見がありました。

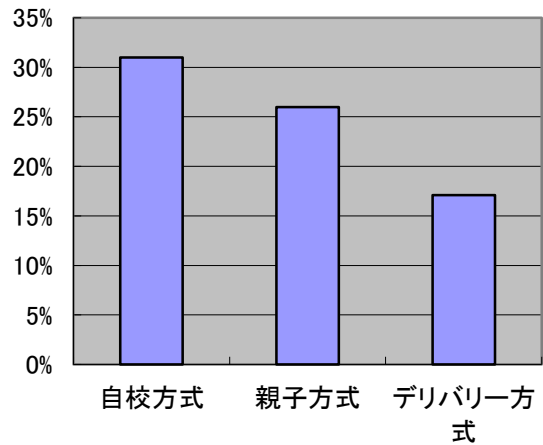
○コメント

※温かい物が食べられる。話題が共通になる。生徒によっては買ってくるコンビニ弁当ではかわいそうである。

※輸送に時間や手間がかかるのが少ないので温かい物を生徒が食べることができるから。

【町民】

自校方式	31.0%
親子方式	26.0%
デリバリー方式	17.1%



町民

●「自校方式」を選んだ理由は・・・

・「温かい食事」「栄養バランスが良い」「作る人の顔が見えるので安心」といった意見が多く寄せられました。

○コメント

※温かいものがそのまま食べられる。作る人の顔がわかる安心感と感謝の気持ちを持てる。

※大事な成長期には、自校で作ることで安心、安全、美味しく栄養バランスのとれた物が必要だと思うから。子どもは小学校での給食が大好きです。試食会で頂きましたが、とてもおいしいです。是非中学校でも給食を作ってほしい。

※衛生面等（特に夏場）を考え、自校でつくり、すぐ食べられるほうが良いと思います。（栄養バランスもよく、食育につながる）暑い時期にお弁当を持たせるのは不安です。

●「親子方式」を選んだ理由は・・・

・「自校方式より少ない予算でできる」「近いので効率的」といった意見が多く寄せられました。

○コメント

※現在の小学校給食に満足している。アレルギー対応可能、効率的運営が小さな町なので良いと思っていた。

※小さな町なので、センターと学校との距離は短い。小学校で作るとしたら、小学校と中学校は近いので、町に2つのセンターがある感じになる。用地を新しく探すのは大変かと思う。

※早急に給食にすべきと思うが経費が係りすぎる。現在の施設を利用しながら栄養バランスよく、温かい食事が食べられることが大事だと思う。

●「デリバリー方式」を選んだ理由は・・・

・「早期導入が可能」「予算が比較的安価」「栄養バランスがよい」といった意見が多く寄せられました。

○コメント

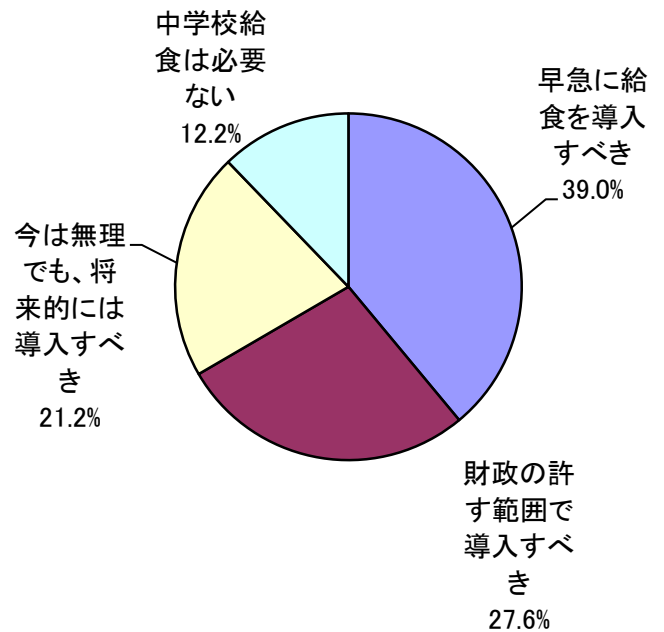
※栄養バランスが良い上に、費用が安くすむから。

※町予算を考慮すれば施設投資経費及び経常経費に多大な費用を要せず、弁当と給食の併用することによって、アレルギー問題や、保温設備の確保により、より温かい給食を提供することは可能。

※税金使用において適正だと思う金額、将来の児童人数の増減に対応しやすい。

問 中学校給食を導入する場合の時期について【保護者・中学校教職員・町民】

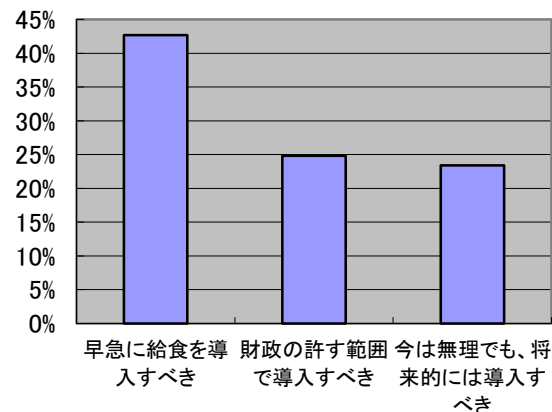
	回答数
<input type="checkbox"/> 早急に給食を導入すべき	399
<input type="checkbox"/> 財政の許す範囲で導入すべき	283
<input type="checkbox"/> 今は無理でも、将来的には導入すべき	217
<input type="checkbox"/> 中学校給食は必要ない	125



※回答者別(上位3位)

【中学生保護者】

早急に給食を導入すべき	42.7%
財政の許す範囲で導入すべき	24.8%
今は無理でも、将来的には導入すべき	23.4%



中学生保護者

●「早急に給食を導入すべき」を選んだ理由は・・・

・「家庭の負担軽減のため」「食中毒など衛生面」「やるなら早く」といった意見が多く寄せられました。

○コメント

※冷凍食品や保冷剤をフルに使い、食中毒防止に努めていますが、栄養バランス、食育の観点から、子供、学校（先生方）互いに必要と考えます。

※“中学がお弁当”という大変驚かれます。“検討”は集中的に、時間的制約（＝期限）を設定しないと、結論を本気で導くことは難しいと思います。早急に対応していただきたいと思ます。

※結局、何年も前から給食の必要性は語られてきて、これからどんどん、女性の社会進出また家庭においても親世帯の高齢化で、負担がふえるから、朝のお弁当作りがなくなれば、時間的、精神的な余裕ができると思います。

●「財政の許す範囲で」を選んだ理由は・・・

・「財政を考えて検討を」「無理して実施する必要はない」「他に使うべき予算がある」といった意見が多く寄せられました。

○コメント

※早急にできればそれにこした事はないがお金がかかる事なのでそのあたりは財政の許す範囲でとしか言いようがない。

※町の行財政の上で、中学校の給食導入より優先させるべき課題があると思われるので。
※次の世代に借金を作ってまで、給食を導入する必要はない。

●「将来的に導入すべき」を選んだ理由は…

・「時間をかけて充分検討を」「財政が厳しいから」などの意見が多く寄せられました。

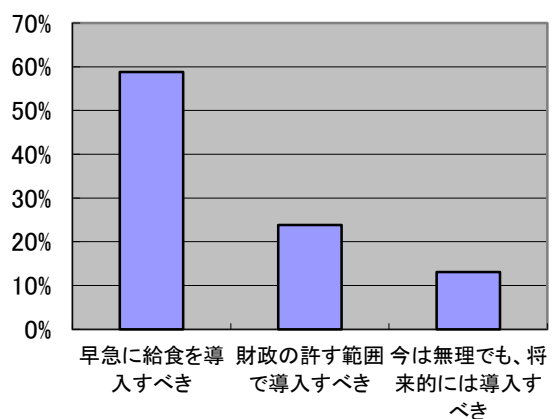
○コメント

※・早急にする必要はないと思う。財政面で、今は難しいのかなと思う。

※財政や色々な事を考えるとすぐには無理があると思う。すぐに始めていい方向に進めばいいが…じっくりと煮つめていってほしいと思います。

【小学生保護者】

早急に給食を導入すべき	58.8%
財政の許す範囲で導入すべき	23.8%
今は無理でも、将来的には導入すべき	13.1%



小学生保護者

●「早急に給食を導入すべき」を選んだ理由は…

・「家庭の負担軽減のため」「栄養バランス」「食中毒など衛生面」などの意見が多く寄せられました。

○コメント

※自分の子どもが中学生になるということも大きいですが、子どもが高学年になり働く母親も増加しているので給食がないというのは働く時間等にも影響が出る。夏の暑さで弁当持参は食中毒などが怖い

※今は働いている親も多く朝お弁当を作るのは大変ですし栄養バランスも整っているので助かる。夏などは例年にない暑さも続きお弁当も痛みやすく心配なので早めにして欲しい

※成長中の子どもには栄養バランスの良い食事が必要なため

●「財政の許す範囲で」を選んだ理由は…

・「優先度は低い」などの意見が多く寄せられました。

○コメント

※大磯町は小さな町な上にお年寄りが多く財政面では毎年厳しいと聞いています。中学の給食を優先することで他の事業等に影響が出てしまうのはどうかなと思います

※何が何でも早急にはではなく、財政に余裕があるなら防災設備の充実、最優先に考えてもらいたい。その次でも良い。

●「将来的に導入すべき」を選んだ理由は…

・「赤字にしてまでやる必要はない」などの意見が寄せられました。

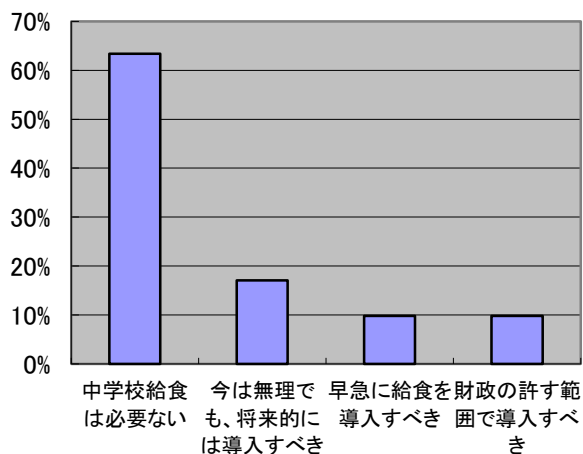
○コメント

※中学校給食を望む声が多数あるなら検討して欲しいと思います。今すぐは無理でしょうが近い将来導入できたらいいと思います

※赤字にしてまで考えていなので

【中学校教職員】

中学校給食は必要ない	63.4%
今は無理でも、将来的には導入すべき	17.1%
早急に給食を導入すべき	9.8%
財政の許す範囲で導入すべき	9.8%



中学校教職員

●「中学校給食は必要ない」を選んだ理由は・・・

・「他に使うべき予算がある」「家庭とのつながりを大切に」などの意見が寄せられました。

○コメント

※教育（学校教育）に町のお金はもっとまわしてほしいです。老朽化した備品や設備、施設のメンテナンスや新たな購入を素早く行えるようにしていただきたいです。

※家庭内のつながりを大切にしていきたい。何でもお金を出して解決するのは良くないと思います。

※中学生は自立へ向かって、様々なことを学んでいます。その1つとして自分の健康管理や栄養管理を行うことも訓練です。給食にしてしまうと、その機会もなくなってしまうので、今まで以上に生きていく力が付きにくくなってしまったからです。

●「将来的に導入すべき」を選んだ理由は・・・

○コメント

※財政的な課題があると考えます。

※お弁当はとても素晴らしいものですが、自分も子どもの弁当を作って、共働きの中大変でした。安い給食が食べられれば、親は楽になると思います。

●「早急に給食を導入すべき」を選んだ理由は・・・

○コメント

※「お弁当の利点があまり感じられないので」

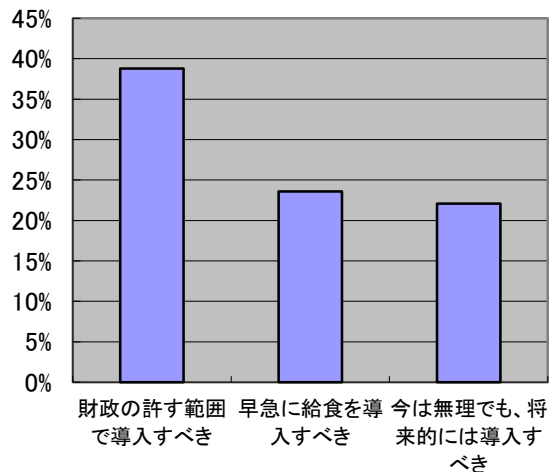
●「財政の許す範囲で」を選んだ理由は・・・

○コメント

※「資金が無いことには始まらないので。」

【町民】

財政の許す範囲で導入すべき	38.8%
早急に給食を導入すべき	23.6%
今は無理でも、将来的には導入すべき	22.1%



町民

●「財政の許す範囲で」を選んだ理由は・・・

・「他に優先すべきものがある」「できる範囲でいい」などの意見が多く寄せられました。

○コメント

※給食はあった方が母子共に良いと思うが、財政が大変なのでそこを考えてほしい。

※町の財政に余裕があればなんでもやってあげて欲しいと思いますが、優先順位を考えて導入してほしいです。中学校給食のために本当に必要な部分がおろそかになる可能性もあるかと思っていますので。

●「早急に給食を導入すべき」を選んだ理由は・・・

・「家庭の負担軽減を」「やるなら早く」などの意見が多く寄せられました。

○コメント

※働いている親が急増しているのでコンビニなどでお弁当を買う子が多いと思います。好きな物だけで済ませるのではなく栄養のバランスが良く温かいものはより温かく、冷たい物や季節感のある物を子ども達の食べさせてあげたい。

※やると決まれば早く実施すべき

●「将来的に導入すべき」を選んだ理由は・・・

・「時間をかけて検討を」などの意見が多く寄せられました。

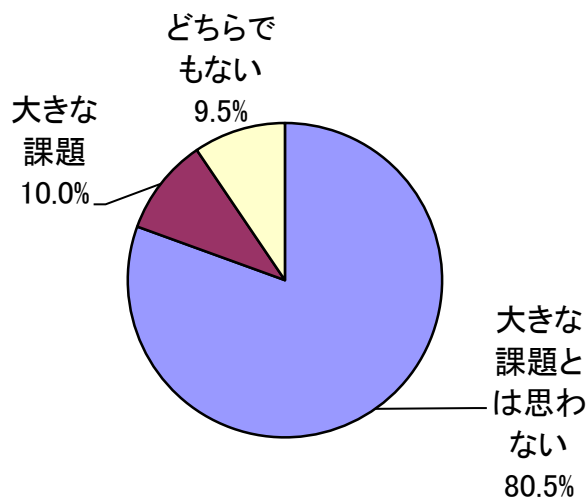
○コメント

※財政的、内容的な問題をきちんと検討するにはある程度の期間が必要。

※課題をクリアするには時間がかかると思う。しかし、近い将来、給食が食べられるようになるならば保護者としては、何でも協力したい。本音は早急に導入してもらいたい気持ちもある。

問 教育カリキュラムや課外活動などに影響は【保護者・教職員・中学生】

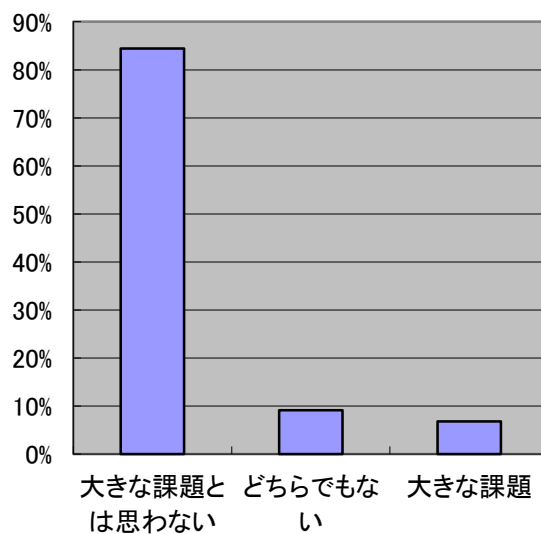
	回答数
<input type="checkbox"/> 大きな課題とは思わない	629
<input type="checkbox"/> 大きな課題	78
<input type="checkbox"/> どちらでもない	74



※回答者別(上位3位)

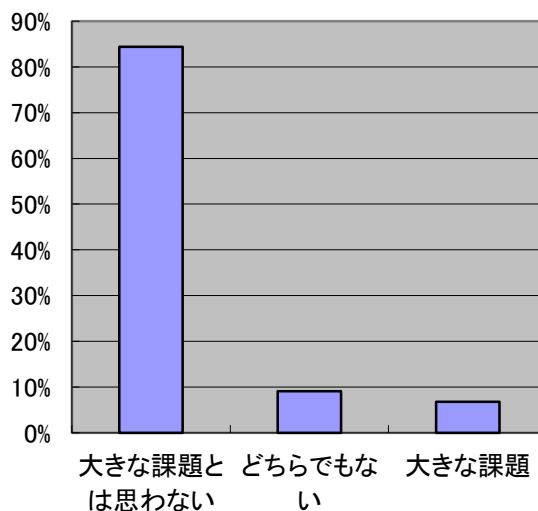
【中学生保護者】

大きな課題とは思わない	84.4%
どちらでもない	9.1%
大きな課題	6.8%



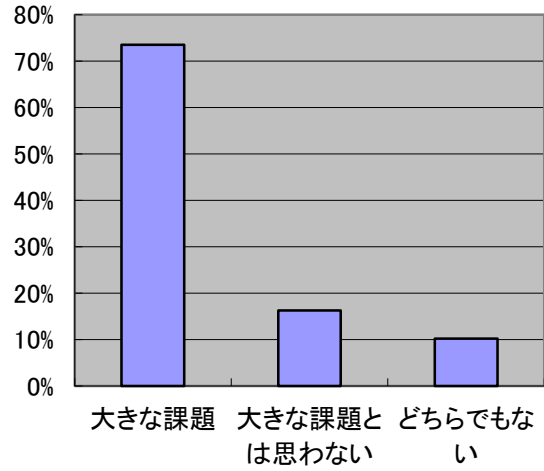
【小学生保護者】

大きな課題とは思わない	87.3%
どちらでもない	10.8%
大きな課題	1.9%



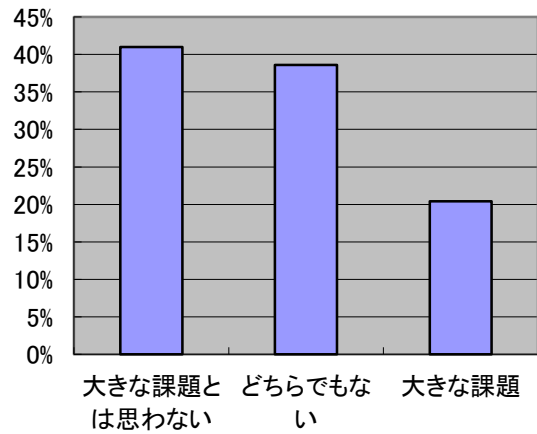
【教職員】

大きな課題	73.5%
大きな課題とは思わない	16.3%
どちらでもない	10.2%



【中学生】

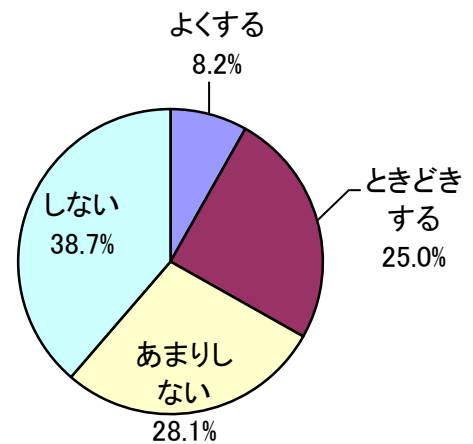
大きな課題とは思わない	41.0%
どちらでもない	38.6%
大きな課題	20.4%



V その他

問 食事や弁当を作るとき手伝いをしますか【中学生・小学生】

	回答数
<input type="checkbox"/> よくする	83
<input type="checkbox"/> ときどきする	254
<input type="checkbox"/> あまりしない	286
<input type="checkbox"/> しない	393



家庭弁当が良いと思う方々

<中学生保護者>

- 中学校給食は子どもによっては食べる量も大きく差が出てきます。量を調節できるお弁当が一番いいのではないかと思います。朝作るのは大変だと思いますが親としていい思い出になるのも一つです。中学生とのコミュニケーションの一つとしてもお弁当は大切です。是非、このまま、お弁当にしてほしいです。給食の残飯の処理も考えものですし。課題が多すぎると感じます。
- こどものためならやっぱり親が作るのが当たり前だと思います。親が仕事で忙しいのはわかりますが、子どものためだったら頑張って作ってあげるのが当たり前だと思うのですが・・・
- 朝の準備が大変だと思うこともありましたが、工夫次第でどうにかなってきました。全部食べきって子どもから「おいしかった」と言われるのがまたうれしさでもあります。給食は楽ではあるけれど、なければ作れないと思います。ただ、お弁当のない子どものことを考えると、少しでも早く体制が整うと良いだろうと思います。
- 「何人かのお子さんが自分でお弁当を作ってきている」と子供から聞いた事があります。きっとそのお子さんは将来自立心も強く、立派な大人に間違いなくなられるでしょう。また、親にお弁当を作ってもらっている子供も弁当箱を洗いながら親に感謝していることと思います。

<小学生保護者>

- 確かに働くお母さんが増え、朝のお弁当作りは大変かもしれませんが、子どもに関わるのもあと少し、そう思えば頑張れるはず！3年間なんてあっという間ですよ！我が子の為に頑張りますよ！
- 娘二人います。確かに作るに大変なときもありますが、女の子は個人差がかなりあると思います。給食には向いていません。

<町民>

- 子育ては親がすべき。何もかも社会に頼りすぎ、そのため子ども達は親の面倒を見なくなる。子どもに愛情弁当を作れば、その愛が必ず親に返ってくるはず。親はそのために愛を・・・
- 学校給食制度の目的はなんですか。制度開始時より近年の目的の違いはあるのか。「食は基本」重要なこと。栄養バランス、カロリーだけの問題ではないと考えます。「食」を通し、「心身の健康」「家族関係」「親」から「子」「子から孫」へと。
- 大磯町にお金があるなら導入してほしいけど、他にもやらなければいけないこともあると思うので何とも言えない。もっと震災に関することを優先してからでも遅くないと思った。

<中学生>

- 家族が作ったお弁当の方がおいしいので、お弁当がいい。
- 給食だとアレルギーがある食べ物がある人が食べてしまい、アレルギーが出てしまうと思うので給食は嫌です。
- 私は給食よりお弁当の方が良いと思います。栄養バランスがよくとれるし、食べれなくなったら家族に言えば量を調整できるからです。
- 給食だと家庭としては便利だが、家族と関わる人が多いという点では弁当が良いと思う。また、残す事や、あきる事もないと思う。
- 給食の場合だと、配膳・片付けに時間がかかってしまったり、食べる量を調整できない。
- 給食は良いけど自分的に何が入っているかなとワクワク感のある弁当の方が楽しみができて良いと思います。
- おいしくない給食は食べない人も多くなり、残飯も多くなる。残飯が多くなると処分するのに大変でお金がかかると思う。
- 食べるのに配膳などの時間がかかり、また、長い時間かけて自由に食べられる、弁当が良いです。
- 親には大変かもしれないが、配膳などの時間を考えると弁当の方が良い。

- そんな金あるの？
- 給食よりも、もっと他の設備にお金をかけてほしい。

<小学生>

- せっかく中一になったら弁当になるのに同じ給食だと少しがっかりします。
- 給食は、嫌いなもの、好きなものもあるけど、家の人の方が野菜を細かくきざんで入れたり、自分の好きな栄養がとれるように工夫してくれるから。
- バイキングで、ドリンクバーもついて、高級料理がいい。
- 給食は栄養バランスは良いけど、給食は量の調節ができない（量が多い）。
- お母さんが作ってくれるお弁当の方がおいしい！自分が食べたいと思ったのをちゃんと用意してくれるからお弁当の方が絶対がいい！
- 給食はみんなと楽しく食べられるけど、やっぱりお家の人を作ってくれた方が、愛情があるなあと感じます。もし家の人を作るのが大変なら、自分でも作れるし、それが勉強になると思います。だから、何が何でも「お弁当」がいいですっ！
- 小学校と違う風にしたかったので、弁当が良いです！中学生になった気が高まる！自由な雰囲気がある方がいい！
- 給食は、好きな食べものでも味が違ったりしてあまりおいしくない。量が多い。6年間ずっと給食だったので、お弁当が食べたいです。

<教職員>

- 保護者も忙しいとは思いますが我が子のために3年間頑張ってもらいたい。町の予算も大変な状況の中でとても実現は難しいと思う。
- 中学校給食は早急に行うべきものではないと思います。学校給食用の予算があるならば他に使う所があるのではないかと思います。保護者への負担は大きいと思いますが、中学生なので、自分で作るということに挑戦してほしいと思います。
- 他校では、給食でとにかくせわしない食事でした。配膳、片付けの時間を引くと10分くらいで食事する感じ。今、昼休みがゆったりしていて、生徒も外で楽しく遊んでいる現状を見ると、休み時間を短くしてまで、給食にする必要を感じない。
- 地域、保護者へのお弁当教室、食事など啓発活動に力を入れ、頑張ってお弁当作りの良さを伝えてください。給食施設など、新たな施設を作るよりも、現在ある施設の補修、更新など教育費の充実を望みます。

給食の導入を望む方々

<中学生保護者>

- もう何年も前から給食について話題にはなっているのに、いまだにアンケートの状態なのでしょう？大磯町にお金がないのはわかりますが、中学校に給食がないのは働いて税金も納めているのにあんまりです。二宮の給食センターを見ると羨ましいです。早くなんとかして下さい。
- 配膳・片付けに時間がかかる・・・と前ページにあります。時間配分すればいいだけのことです。配膳・片付けも教育・しつけだと思います。
- 小学校のように教室で食べるのではなく、カフェテリア方式でもいいかと思う。教室で食べるのではなく食べに行くという発想。エレベータがあるわけではないので給食を運ぶのは大変だと思う。でも大きなホールが必要になってしまうのでしょうか。土地が余ってないですね。
- 食中毒の心配があり、冷凍食品を多く使っています。部活の朝練があると、6時台に作った弁当なので不安もあります。大磯の小学校（特に国府）の給食は”おいしい”と評判がいいです。中学校でも是非給食にしてもらえるといいなあと思っています。（独身の先生も助かるかも）子供も、おいしかった小学校の給食を食べたい、給食がいいと言っています。

○小学校のときまで給食でしたが、3・4時間目くらいになるとお腹が減って授業に集中できなくなる時がありましたが、給食のいい匂いがしてくると、楽しみになり頑張って勉強しよう！！と気持ちのメリハリがありました。中学になると弁当だったので自分で作っていったので、あまり楽しみがありませんでした。中学も給食になったら子どもたちも喜ぶかと思います。

○現状は、土・日曜日でも部活があり、週七日お弁当なので、お弁当作りの休みがありません。せめて、週に何日かでも（希望制）給食があると助かります。

<小学生保護者>

○中学生は成長段階でとても沢山吸収するものが多いと思うので、給食もその中の一部であり、栄養バランスなどもしっかり考えていただけるので必要だと思います。家で作るお弁当はどうしても偏ったものになりがちだと思います。

○近頃の経済状況はまだまだ厳しく、共働きを余儀なくせざるを得ない中、子育て中の家庭の弁当作りの負担軽減は大変有意義な税金の使い道のひとつだと思います。核家庭、共働きというのが当たり前となる現況において”子育て”への支援対策＝少子化対策につながると思います。ぜひ、早急な計画を切に希望しております。

○給食のおかげで好き嫌いが多かったが改善された。家庭の料理がワンパターン化していて給食のメニューで栄養バランスを整えていたり、子供から給食のリクエストされたりで私も勉強になっている。この時期はお弁当をもたせるのも心配（部活で朝練習があるときは昼まで時間が長く、いためてしまいそう）。

<町民>

○日本の将来を考えれば、男女とも高齢まで働かなければならないので、弁当をつくる負担は無くしていく必要あり。子育ての負担を少なくすることは大切。

○家庭弁当は、個人差があり、栄養的にも偏りがあると思う。温かい食事をスピーディーに出せる給食は、メリットが大きい。導入の実現化を期待する。

<中学生>

○確かに母や家族、自分で作ったのはおいしいと思いますが、作っている方は大変だと思います。給食（食事）のありがたみを感じるためにも給食はとても良いと思います。

○今は父親などはもちろん母親も働くという家庭も多いので、親の人は作るのが朝の時間にとっても大変だと思うので給食がいい。また、母子家庭や父子家庭など家庭によって事情もあるから給食がいい。

○配膳などの仕事があることで責任感や絆が深まると思う。

○毎日色々な温かい料理が食べられるので良い。

○私は栄養バランスが良いものや、温かいご飯が食べたいので給食にしてほしいと思った。また、食中毒など、朝早くから作っているの、その点も少し心配。

○僕の家は学校まで遠く、時間がかかり、早くに家を出るので朝の時間はあまりなく、お弁当を作るとなるとお母さんが早起きしなくてはならぬ大変なので、給食にしてくれるとうれしいです。

○お弁当だと作る時間など、持ち物が多くなるから、とにかく大変なので給食が良い。

○配膳などは小学校でもやっていて少しは慣れていると思うので、問題はないと思う。

○みんな栄養バランスをとっていないと思う。

○給食はおいしいし、温かい食べ物と冷たいデザートが食べられるから好きです。

○カレーなど、弁当じゃ食べれないものが食べれる。

<小学生>

○温かく栄養よくバランスがよくおいしいからです。あまり金もかからないから。お弁当だとさめているから。（給食センターから運ぶなら、お弁当がいい）

○給食は、しっかりと栄養士さんが作っているから、家で作るお弁当よりずっと栄養が片寄らず、健康的なので良いと思う。

○給食だと、おかわりできて良い。

○栄養バランスがちゃんと取れていてすごくおいしい！家では食べられないものも給食では食べられる！お弁当だと昨日の残りものとかあるから、飽きちゃうけど給食では同じものは時間がたってから出てくる！

○ぼくの、おばあちゃんはいつもお弁当にすると疲れちゃうから、給食の方がいい。お母さんは朝弁当のせいで大変なんです。少しでも楽にしたいです。

○税金が取れて経済効果が出るから。

<教職員>

○お弁当忘れ、また“弁当格差”を無くすためにも、小学校から引き続き給食にした方が良いのでは。

給食と家庭弁当を選べるのが良いと思う方々

<中学校保護者>

○生徒全員が毎日弁当を作ってもらえる環境下ではありません。保護者の病気や諸事情で困っている家庭がありますので、早急に対策をお願いします。

○今頃になって、やっと動き出した…？財政難は大磯だけではありません。動き出した歩みを立ち止まったり、あと戻りすることがないよう、前進して行ってほしいです。

○色々な家庭の事情にも通ずる問題なので簡単には決められないと思う。給食費の未納問題もあるので慎重に踏み切るべき。現状弁当でどんな問題があるのかわかりません。

○お弁当が負担かと言われてしまうと、NO！とは言いきれませんが、子どもと親をつなぐ愛情の証でもあるように思います。ただ、夏場など、傷みが気になる場合もあるので、選択であればよいのでは。仕事をしている親にとってはうれしい限りですが、毎日同じものを子ども達が食べる状態もどうかと思います。私は少し手抜きをしてでも愛情のこもったお弁当は大切！と考えます。

<小学生保護者>

○小学校の給食においても野菜など残す子が多いと聞きます。まずは小学校給食の残存率など調査し公表するべきではないでしょうか。同じ課題が発生するような体制にはするべきではないと思います。

○まず小学校で給食費未納がない上であがるべき話。それに町に予算がない、個人的にはどうでもよい。3年間くらい作ってあげたらと思う。なんでも町に負担とか要望を出すのはよいが本当に困っている所に予算を使って欲しい。本当に困っている人、命、体に関わること。

<町民>

○共働き、フルタイムなどお弁当作りも毎日となると負担。せめて給食にさせていただき、1ヶ月に何回かをお弁当デイにしてもらえるとありがたい。また、栄養バランスや旬の地場産などを使用し、健康面、町の活性化などにも役立つのでは。

○学問をうける権利などの必要だが、学校でみんなで一緒に栄養のある食事を食べる事ができるのも子どもには必要。アレルギーにも対応してもらえたらうれしい。

○給食の時に、皆で配膳、片付けなどの協同作業をし、温かい食事を皆でそろって取ることは、核家族化し、周りの人に時間を合わせるという作業が少なくなっている現代には重要と思う。

○給食導入について、財政的に厳しい面もあると思うが、明日を担う子ども達を育成するためにもケチらないで進めてください。

○食育を学校に頼る傾向が増加すると思います。集団生活での指導だけでなく、家庭での細やかな指導が不可欠です。

○おいしい給食を食べた子どもの記憶はそれと相まって、将来の大磯を愛する源にもなると思います。給食も、大磯でしか出せない食材、味付けなど、いくらでも工夫でき、その味を子供達が覚え親しみ、未来に繋げていくのではないかとも思えます。

○校舎や体育館なども老朽化しているので、給食の事だけでなく、町の財政など含み、トータルに考えてほしい。二人の子供が中学を卒業してから十年以上たっているのに、今の子ども達の生活がわからないので、難しい質問だった。

<中学生>

- 選べると良いと思う。弁当は弁当で好みのものを食べれるし、給食はあたたかいものを食べれるので人それぞれなので、自分の食べたい方を選べるようにしたい。
- 作る人によって、給食がいいか迷う。作る人、決める人を中学生（磯中）で審査すれば良いのでは？まずいものは食べたくない。
- 給食があればお弁当を作れないときはとてもよいと思いましたが、今の中学校の時間割のままだと、昼休みが無くなってしまったり、これから調整しないと難しいと思います。
- 家庭の事情もあるので給食がいい人、悪い人の両方の意見をいられるものを考えて下さい。
- 給食があるとあたたかいスープやほかほかのご飯などが食べられるので僕たちのモチベーションが上がると思う。また、おかわりができるので、弁当箱が小さい人もお腹いっぱい食べられると思う。
- 本当にそんなお金はありますか。もっと必要なものがあると思います。
- 給食にするなら、無農薬野菜、国産100%の材料などに、給食だけでもしてほしい。
- よくある食堂のように、お金で給食を買って、食後はおぼんをコンテナに出しておわりみたいな感じが良いです。
- 給食だと、めん類やスープ、おかず、ごはんなども温かく食べれるし、お弁当は自分の好きな物、好きな量を食べることができるから、両方あってほしい。
- プールで使い切っているのではないのでしょうか。冷水機とか冷蔵庫とか配備してください。そろそろお金の使い方をわかってください。

<小学生>

- 夏はさっぱりしたもの、冬は体が温まるものがいい。
- いままで給食だったから弁当も良いけれども、たまには、給食を食べたい。
- お弁当だと確かに好きなものを入れてもらうけど、給食は好きなものが入っていない時がある。給食だと普段たべないのが出る。
- ごはんのすすむおかずをだしてください
- 給食はお弁当とちがい、温かくて、いろいろな物が食べられるけど、お弁当はいつも食べてるものが食べれるので、交互が良いと思う。

<教職員>

- 父子家庭、母子家庭が増加している中、家庭の負担や子どもの栄養バランスを考えると良い点もあるかもしれません。

保護者…自校方式による給食の早期導入を望んでいる

「給食」の早期導入を望んでいます。理由は、弁当作りに負担を感じていることや、特に夏季における食中毒等衛生面について心配されています。近年は共働きが増え、毎朝の忙しさの中で、給食導入による負担軽減を望んでいるようです。

給食を導入する場合の方式については、各学校内の給食室で調理する「自校方式」を望んでいます。「親子方式」を選ぶ保護者も多くいましたが、自校と比較して安価で導入できるため、財政面を考慮した選択となっています。「温かい食事」、「作り手の顔が見える」といった理由から、財政面を度外視すれば、実質、「自校方式」が最も望ましいという考え方といえます。

町民…財政状況を見極めた上で、自校方式による給食を望んでいる

「給食」の導入を望みますが、財政状況を見極めた上で、町民にとっての優先順序を考慮してからの導入とすべきと考えています。

給食方式については、保護者同様、「自校方式」が望ましいとしています。

中学生…自分に合った量を食いたいから「家庭弁当」を望んでいる

「家庭弁当」を望んでいます。理由としては、「食べる量が調節できるから」が最も多数意見となりました。成長期の中学生にとって男女の差も含め、「食べる量の調節」は大きな問題のようです。

給食導入による「学校カリキュラムへの影響」については、大きな課題とは考えていないようです。しかし、部活動に所属している生徒たちにとっては、早朝練習から、授業、夕方の練習と続く中で、給食導入にかかる時間を心配している様子が伺えました。

小学生…家庭弁当は特別！という思いから「家庭弁当」を望んでいる

「家庭弁当」を望んでいます。理由としては中学生同様、「食べる量が調節できるから」となっています。意外にも現在の給食の量が「多い」、と感じている児童が多数いました。また、児童にとっては6年間給食を続けているため、遠足や運動会など、家庭弁当は「特別」という一種の憧れとなっているようです。

教職員…教育予算の優先度により、今までどおりの「家庭弁当」を望んでいる

「家庭弁当」を望んでいます。理由としては小・中学生同様「食べる量が調節できるから」と、「アレルギーの心配がないから」が上位を占めました。

給食導入による「学校カリキュラムへの影響」については、現場の教職員が最も心配しているようです。

また、給食導入による予算があるならば、学校施設の充実等他の教育予算に充てて欲しいという理由から、給食導入には消極的です。